

(別紙1)

令和 6 年 7 月 2 5 日

二本松市議会議長 様

会 派 名 令和創生の会

代表者名 本多 俊昭



研 修 報 告 書

本会派において、下記のとおり研修会に参加したので、報告いたします。

記

1. 研 修 名全国地方議会サミット 2024.....
「非常事態への備えこれからの議会」.....
2. 研修日時 令和6年7月10日(水)～7月11日(木)
1日目 13時00分～17時30分
2日目 10時00分～16時00分
3. 研修場所 早稲田大学国際会議場井深大記念ホール
4. 講 師 等 早稲田大学名誉教授 北川 正恭 氏
元総務大臣 片山 善博 氏
法政大学総長 廣瀬 克哉 氏
大正大学教授 江藤 俊昭 氏 他
5. 参 加 者 ①小林 均 ②本多俊昭

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧



視 察 ・ 研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会

氏 名 本多俊昭

○ 月 日 令和 6 年 7 月 10 ～ 11 日

○ 場 所 早稲田大学国際会議場井深大記念ホール

○ 内 容 全国地方議会サミット 2024 非常事態への備えこれからの議会

○ 視察・研修の感想

基調講演、被災地からの報告、パネルディスカッション、セッション

基調講演で、北川先生の話の中で特に印象に残った言葉「平時にできないことは非常時にできない」との言葉がとても印象に残りました。平時の時の訓練の大切さ備えがいかに必要かと気づかされました。また、本年元旦に能登半島地震の被災地である首長・議会代表の議長の方々の話では、被災されて住民の救出・支援を早急に行いたいという作業行動は、役所と議会の立場の違いを双方で認め合いながら行動しなければならないこと。また、13 年前に発生した東日本大震災の被災地の首長・議会代表の議長の方々の話では、地震・津波・原子力災害と未曾有出来事で、役所と議会の情報伝達や共有に大変苦慮された内容でした。また、復旧復興作業を通してかなりの差があるとも感じました。今後、被災地へどのような支援が必要かを考えると時でもあり、決して風化をさせてはならないと強く感じた講演内容でした。

○ 視察・研修の成果、市政への反映等

※視察・研修の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

・あらゆる災害に対して実効性の高い「議会 BCP」の確立と訓練の実施。

・災害時に活用できるデジタル技術を行政に積極的に取り入れる。

・災害の備えは議会が主導し住民自治や災害対応への政策を提言する。

・各地で起きる災害に備えて貸し出しのできるトイレトレーラーの導入。

研 修 報 告 書

会 派 令和創生の会

議席番号 17 氏名 小林 均

- 開催日時 令和6年7月10日~7月11日
- 研修場所 早稲田大学国際会議場井深大記念ホール
- 演 題 全国地方議会サミット 2024
「非常事態への備えこれからの議会」
- 講 師 早稲田大学名誉教授 北川 正恭 氏
元総務大臣 片山 善博 氏
法政大学総長 廣瀬 克哉 氏
大正大学教授 江藤 俊昭 氏 他
- 研修の感想

第1日目

- 早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川正恭氏の基調講演では、「1995年に国と地方は対等・協力の関係になった。地方が変えれば、国が変わる時代。我々議員は、善政競争を全国に広げていこうTTP（徹底的にパクリ）」
- 能登半島地震被災地からの報告では、輪島市議会―地域防災計画を見直し議員の役割を明確にすることが大事。地震は必ず来ると考えて行政も議会も住民も行動する。野洲市議会―人口流出、仮設住宅1000戸、地域コミュニティが崩壊。地域に残った人だけでなく関係人口を増やすことが大事。全国の人に関心を持ち続けてもらいたい。能登町議会―発災時に議員個人間での来庁等を控え、タブレットで共有する。議会のBCP計画を作っておくことが大事。
- 熊本地震の現場から 熊本市長 大西一史氏 3.2万世帯が断水、2日目のトイレは地獄のような有様だった。執行部からの情報提供ができなかった。
- 能登半島地震と珠洲市の状況と対応 珠洲市長 泉谷満寿裕氏 橋の前後が沈下して自動車が渡れなかった。また、病院の機能はどうなのか。非常用電源は使用できるのか。トイレトレーラーが全国から届き大変に助かった。

○熊本地震では南北5キロにわたり液状化、水抜きと地盤強化に7年かかった。
分譲マンションの解体は大変。

○防災DXの最前線と今後の展開 総合防災センター長 臼田裕一郎氏 ①避難所情報統合システムの構築支援 ②Suicaを活用した避難者情報の把握支援 ③被災者訪問アセスメントのオンライン化支援 ④被災者データベースの構築支援、①災害時に使用する「基礎的データ」の浸透・定着・徹底 ②情報を「インフォメーション」から「インテリジェンス」へ ③「災害派遣デジタル支援チーム」の組成

○災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性
宇宙公務員 円城寺雄介氏 「平時にやっていないことは非常時にはもったできない。」2016年にドローンによる空撮と物資搬出を当たり前にした。
2018年には、宇宙技術を使った災害対応 — 通信衛星、測位衛星、地球観測衛星の活用

○東日本大震災の経験から 元総務大臣 片山善博氏 自治体に防災の専門家がいるかどうか。リーダーシップがあるかどうか。県に専門家を置いて各市町村に配置できるようにすることが必要。鳥取県では図上訓練を何回もやった。防災訓練は形骸化してはダメ。

第2日目

○非常事態への備えと議会の対応・役割 法政大学総長 廣瀬克哉氏 自助、共助では明らかに足りない状況。非常事態での議会の役割 発災期—情報収集機能 応急期—課題整理機能 復旧期—議論の場としての機能 各時期ごとに議会の果たすべき役割と、避けるべき行動を明確にし、あらかじめ議員間で共有しておくための計画の策定が必要。議員は災害対策のオブザーバーになる。

○パネルディスカッション 久慈市長 濱欠明宏氏 議会BCP計画の見直し、善政競争を進めていく。陸前高田市長 福田利喜氏 計画を延ばすのは住民の生活に直結する。すべての事業を検証・見直しをする。(検証と復興)
双葉町長 伊澤史朗氏 できるためにどうするか。柔軟な対応が必要。

○デジタル・生成AIを生かす デジタルハリウッド大学教授 橋本大也氏 人間はAI+人間でAIを監督する役目

○議会改革の最新トレンドとトピックス 議会改革の軌跡と展望 大正大学教授 江藤俊昭氏 ①ローカルマニフェスト運動の意義 ②議会改革の過去、現在、未来 ③ローカルマニフェスト大賞 ④住民を巻き込んだ政策提言 ⑤決算をしっかりと上で予算を検討する

○パネルディスカッション あきる野市議会議員 子籠敏人氏、可児市議会議員 川上文浩氏、同監査委員事務局長 平田祐二氏 学校監査の実施。ホームページの掲載内容の改善、充実。監査のオンライン化等

○委員会代表質問を生かす 法政大学教授 土山希美枝氏

甲賀市 委員会代表質問の目的—議員間討議を通じて合意を図る。

委員会中心主義 → 委員長による代表質問 事例 ①消防団が抱える諸課題とその対応について ②自治振興会の在り方につて ③道の駅「あいの土山」の活性化について

別海町 町の現場で議員が気づいた課題を提言する。令和6年6月定例会 町立病院の運営等をめぐる質問（常任委員会の委員の総意に基づく質問です。） 委員会機能の充実～議会の活性化、議員間討議の充実

令和創生の会研修会参加行程表

日時	月 日	行 程			
1	7/10(水)	【JR東北本線】	【JR新幹線】	【JR湘南新宿ライン】	【山手線】
		二本松駅	郡山駅	大宮駅	池袋駅
		8:33発	8:57/9:30	10:23/10:42	11:08/11:13
		【徒歩】	【徒歩】	【都電荒川線】	【徒歩】
		早稲田大学	早稲田駅	一大塚駅前	宿泊ホテル・夕食(泊)
		研修～17:30	17:35	17:40/17:57	18:00着
日時	月 日	行 程			
2	7/11(木)	【都電荒川線】	【徒歩】	【徒歩】	【地下鉄東西線】
		大塚駅	早稲田駅	早稲田大学	高田馬場駅
		9:10発	9:22着	9:27着	16:00
		【JR新幹線】	【JR東北本線】	【徒歩】	【山手線】
		大宮駅	郡山駅	二本松駅	池袋駅
		17:10/17:25	18:17/18:44	19:06着	16:35/16:39

【研修会場】

早稲田大学国際会議場井深大記念ホール(東京都新宿区西早稲田1-20-4)

【視察・研修項目】

全国地方議会サミット2024

「非常事態への備え これからの議会」

【宿泊先】 R&Bホテル大塚駅北口 住所 〒170-0004東京都豊島区北大塚2-14-2 TEL:03-3949-8484

講師 早稲田大学マニフエスト研究所顧問 北川正恭 他

全国地方議会 サミット2024

07.10_水&11_木 早稲田大学大隈講堂

非常事態への備え これからの議会

能登半島地震で被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

2024年元日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらし、今なお復興のさなかにあります。

災害対応や支援のあり方、最新技術やデジタル、各地の経験をどう活かしていけるのか——。

地域や住民の生活を守るために、私たちが学ぶべき現場の実践・経験知について、現場で対応にあたる当事者や経験者とともに議論します。

非常事態や様々な課題への対応、強い地域をつくる「これからの議会」を提起・発信します。

7/10_水 Day1
13:00-17:30

基調講演 生活を支える強い地域を議会がつくる

早稲田大学マニフェスト研究所 顧問 北川 正恭 氏

能登半島地震被災地の議会からの報告

輪島市議会議員・元議長 橋原 正洋 氏

珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏

能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏

熊本地震の経験と自治体間支援の現場から

熊本市長 大西 一史 氏

能登半島地震と珠洲市の状況と対応

珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏

大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏

防災DXの最前線と今後の展開

国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長

防災 DX 官民共創協議会 理事長

臼田 裕一郎 氏

災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性

佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー

宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

東日本大震災の経験から

元総務大臣 片山 善博 氏

○ 終了後意見交換会

(先着150名様、参加費4,000円、要申込)

7/11_木 Day2
10:00-16:00
途中昼食休憩あり

非常事態への備えと議会の対応・役割

法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏

[パネルディスカッション]

東日本大震災の経験をふまえた災害対応

久慈市議会議員 濱欠 明宏 氏

大規模復興と議会のあり方

陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜 氏

住民避難・離散と自治体・議会の活動

双葉町長 伊澤 史朗 氏

デジタル・生成AIを活かす

デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏

議会改革の最新トレンドとトピックス

議会改革の軌跡と展望

—マニフェスト選挙から20年、その先に！—

大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

[パネルディスカッション]

議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携

あきる野市議会議員・議選監査委員・元議長 子籠 敏人 氏

可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩 氏

可児市監査委員事務局長 平田 祐二 氏

委員会代表質問を活かす

法政大学 教授 土山 希美枝 氏

甲賀市議会、別海町議会

早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革度調査」から

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏

全国地方議会サミット2024

検索



※ プログラムは現時点の予定であり、変更になる可能性があります。 <https://maniken.jp/summit/>

日時 | Day1 | 2024年7月10日(水)13:00-17:30
| Day2 | 7月11日(木)10:00-16:00

会場 | 早稲田大学大隈記念講堂(大講堂)
〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104
オンライン配信あり(Zoomミーティング)

対象 | 議員、議会事務局・自治体職員、市民等

定員 | 会場 | 先着1000名様 | オンライン | 定員無し

参加費 | 議員 | 11,000円
| 一般 | 5,500円 *いずれも税込。2日間を通しての金額です。

申込方法 | ウェブもしくは裏面のFAX申込書より 期日:2024年6月30日(日)

主催 | ローカル・マニフェスト推進連盟 マニフェスト大賞実行委員会

共催 | 早稲田大学マニフェスト研究所

後援 | 全国市議会議員会 全国町村議会議員会

問合せ | 電話 | 03-6709-6739 | メール | mani@maniken.jp
事務局 早稲田大学マニフェスト研究所(亀井、山内)

主催

ローカル・マニフェスト推進連盟



Manifesto Awards

共催

早稲田大学
マニフェスト研究所



全国市議会議員会
National Association of Chairpersons of City Councils

後援



全国町村議会議員会
National Association of Chairpersons of Town and Village Assemblies